

コンタクトレンズの誤配、誤送、誤配達、テレコはなぜ起きるのか？——荷主企業が確認すべき、注文データ・WMS・ラベル・配送工程の盲点

Published: 2026-05-20 / Updated: 2026-05-20

Summary

コンタクトレンズの誤配送は、倉庫作業員の単純なピッキングミスだけではなく、注文データ、商品マスタ、WMS、バーコード、ハンディ、ラベルプリンタ、梱包、仕分け、配送会社、顧客入力どこかで起きる小さなズレが顧客の手元で表面化したものです。コンタクトレンズは小型高単価で、度数・左右・箱数・メーカー・装用期間・カラーなどSKUが細かく、定期購入されるため、誤配送は再発送コストだけでなく継続顧客の離脱やブランド信用低下につながります。荷主企業は委託先に対し、商品バーコードと注文内容の照合、商品と宛名ラベルの紐づけ、分割発送時の顧客通知、仕分け機やWMS停止後の再開手順、工程別ログの追跡性を確認する必要があります。誤配送対策は荷主の品質管理であると同時に、委託先にとっても返品・再発送・調査・クレーム対応・監査対応を減らす業務効率化策になります。

Key Points

- コンタクトレンズの誤配送は、倉庫作業員の単純なピッキングミスではありません。注文データ、商品マスタ、WMS、バーコード照合、ラベル貼付、梱包、仕分け、配送のどこかで商品と注文・宛名の対応が崩れると、顧客の手元で「違う商品が届いた」と表面化します。荷主は工程ごとの照合点とログ、停止後の再開手順まで確認します。
- 論点：誤配送は倉庫や配送会社だけの問題ではありません。小型高単価で周期的に購入される商品では、注文データ、WMS、バーコード、ラベル、梱包、仕分け、配送、顧客入力のどこか一つがズレるだけで、継続顧客を失う事故になります。

Source Article

<https://www.ieee802.co.jp/articles/article-089-misdelivery.php>

© Kei Communication Technology Inc.

This document is a summary of the source article. For the latest information, refer to the source URL.